

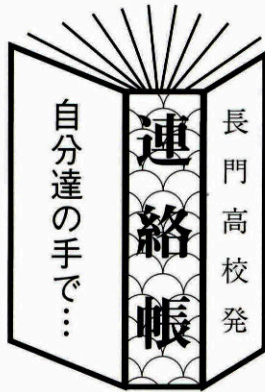


原田美千代さん

3年(下郷区)

私たちは今、生徒会活動の一つとして月2回、1日と15日に地下道の清掃活動をしています。月2回の活動ではありませんが、毎回地下道の壁や地面にガムがこびりついていたたり、溝にはタバコの吸いながら、お菓子の袋等が落ちていきます。私が最初に参加した時より大分ごみは少なくなってきたようですが、それでもまだ完全にはその姿は消えていません。

世間では環境問題が大きく取り上げられています。しかし、



自分達の手で:

長門 高校 発



それにはまず身近な所から、解決しなければいけないのではないのでしょうか。小さな事からコツコツと頑張っていけば、そう遠くない将来に環境問題も改善されると思います。

気の遠くなるような話ではありますが、地域の人々の「ご苦労様」の一言で勇気付けられ、これからも頑張っていこうと思います。



西本さんの家には、国指定の天然記念物の「ナツミカン原樹」があり、取材の日3人連れの観光客が来ていた。「昨日は、日置町から20人来られた。春休みになると大学生がよく来ますよ。説明してくれと頼まれれば、話しをしたりします」と言う。「まだたくさんの実がなっていて早く摘果せんといけん。観光客で欲しいという人がいればあげます。以前は風呂に入れていました」と話す。

「年数が経っているので強い肥料はやれません。米ぬかや漁網についたカキ殻を砕いてやっているがそれが良いように思う。枝を切るときは、文化庁の許可を受けてからでないといけません。昔は大きな幹でしたが、今では4分の3は枯れてしまっているんです」

ふるさとながと ④8

こんにちは

ながとが活力源に



前場美智子さん
(広島市中区)

略歴

昭和22年緑ヶ丘区で生まれる。昭和40年大阪で太陽生命に就職。
昭和43年に結婚。現在、広島に在住。

昭和45年、長門を出発点とし宇部・広島・宇部・東京そして現在広島へ落ち着いております。主人の転勤でいろいろな地での環境や人との出会いがあり財産の一つとなっています。東京から帰省したときには、普段空の色等気にもしなかったのですが澄みきった青い空と間近に見える山々の緑、日差しの強さを感じ懐かしさと自然の美しさを感じ知らされました。光化学スモッグ警報等都会での生活を経験して初めて空気の新鮮さがわかり、自然環境の大切さを考えさせられます。

2人の子どもは東京で生活しておりますが年一度の帰省をとても楽しみにしています。都会での気ぜわしい生活から開放され、田舎



ご両親と一緒に

でゆっくり休暇を過ごし鋭気を養い仕事に戻りますが、田舎が活力源となっている様です。年とともに故郷を思い出す回数も増え帰る機会も多くなりました。帰るたびに町の変化には驚きと喜びを感じております。何年か先には生まれ育った長門市で生活することになります。

今後の長門市の発展を期待しております。